

# 中京平野を縦貫する白い運河112km

これは空からみた幹線水路の一部、明春幹線水路の全線が完成したあかつき、愛知用水地域の上空をヘリコプターあたりで散歩すれば、眼下にくりひろげられる濃尾平野から知多半島にかけての地上風景こそみごとなものであろうと思われる。まさに「白い運河」とよぶにふさわしい延々112kmの水の大動脈である。

(写真は朝日新聞名古屋本社提供)



112 km of a white Canal running through the Plains of Cyukyo



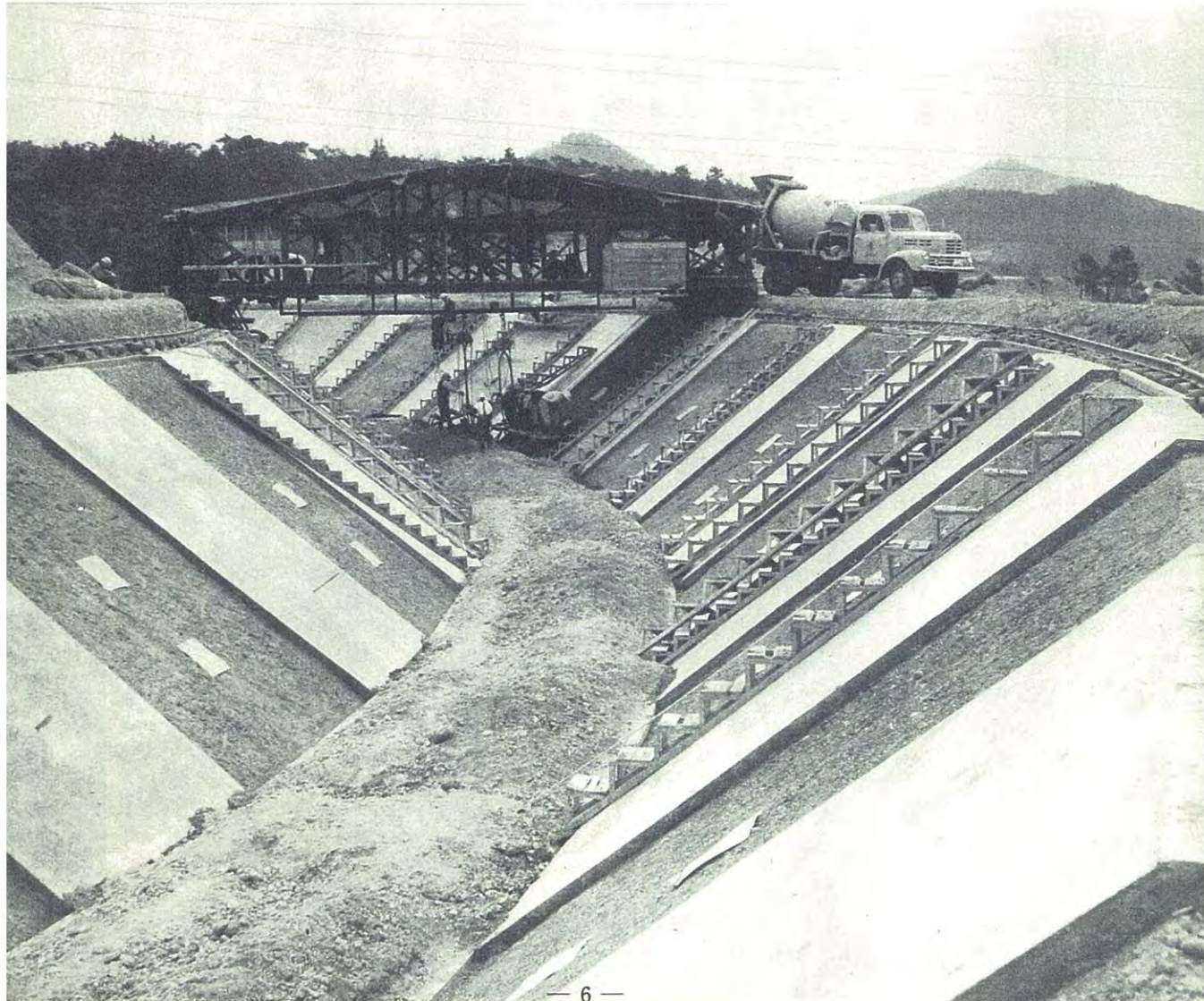
# 開水路

## OPEN CANAL

愛知用水の幹線水路 112kmのうち、開水路の区間は延長66.1km (59%) に達する。  
 この開水路の施行は、掘削からコンクリートライニングまで、すべて機械力を利用しているので非常にスピードで進んでいる。(6.7ページの写真はいずれも城東開水路の施工状況)

▲上昇するスロープフォームにコンクリートを流し込んでゆく

▼スロープフォームによるコンクリートライニング、一日の巻立能率は80m



# 開水路の施工順序

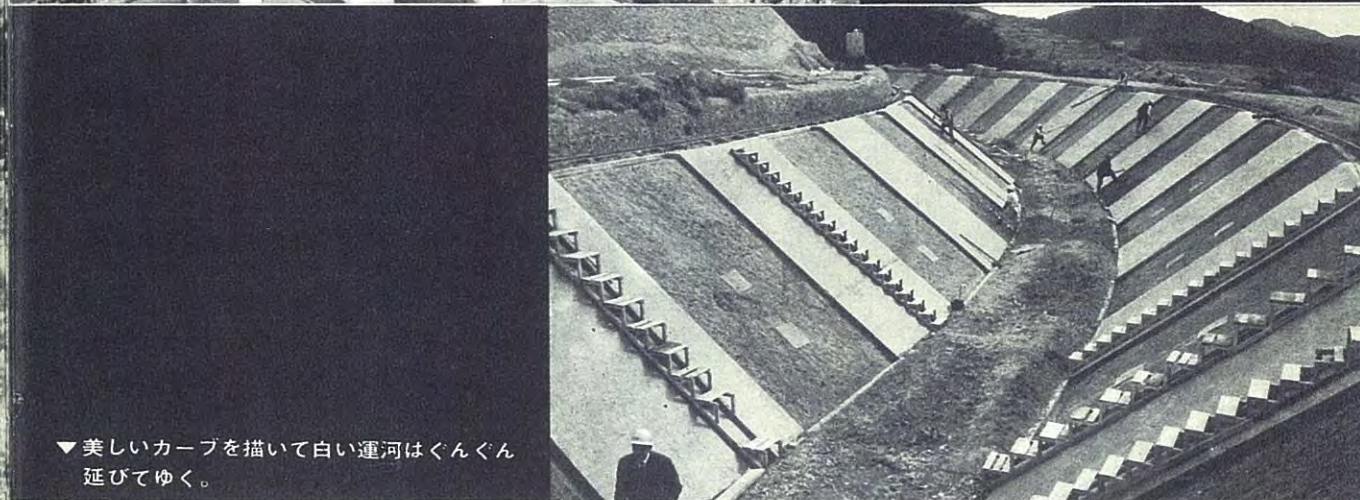
## CONSTRUCTION STAGES



▼ショベル、ブルドーザー、スクレーパーなどで掘削し整形する。



▲まず路盤を締め固める、一見道路工事のようだが……



▼美しいカーブを描いて白い運河はぐんぐん延びてゆく。



▲スロープフォームで1スパンごとに巻き厚10cmのうすいコンクリート壁を打ってゆく。